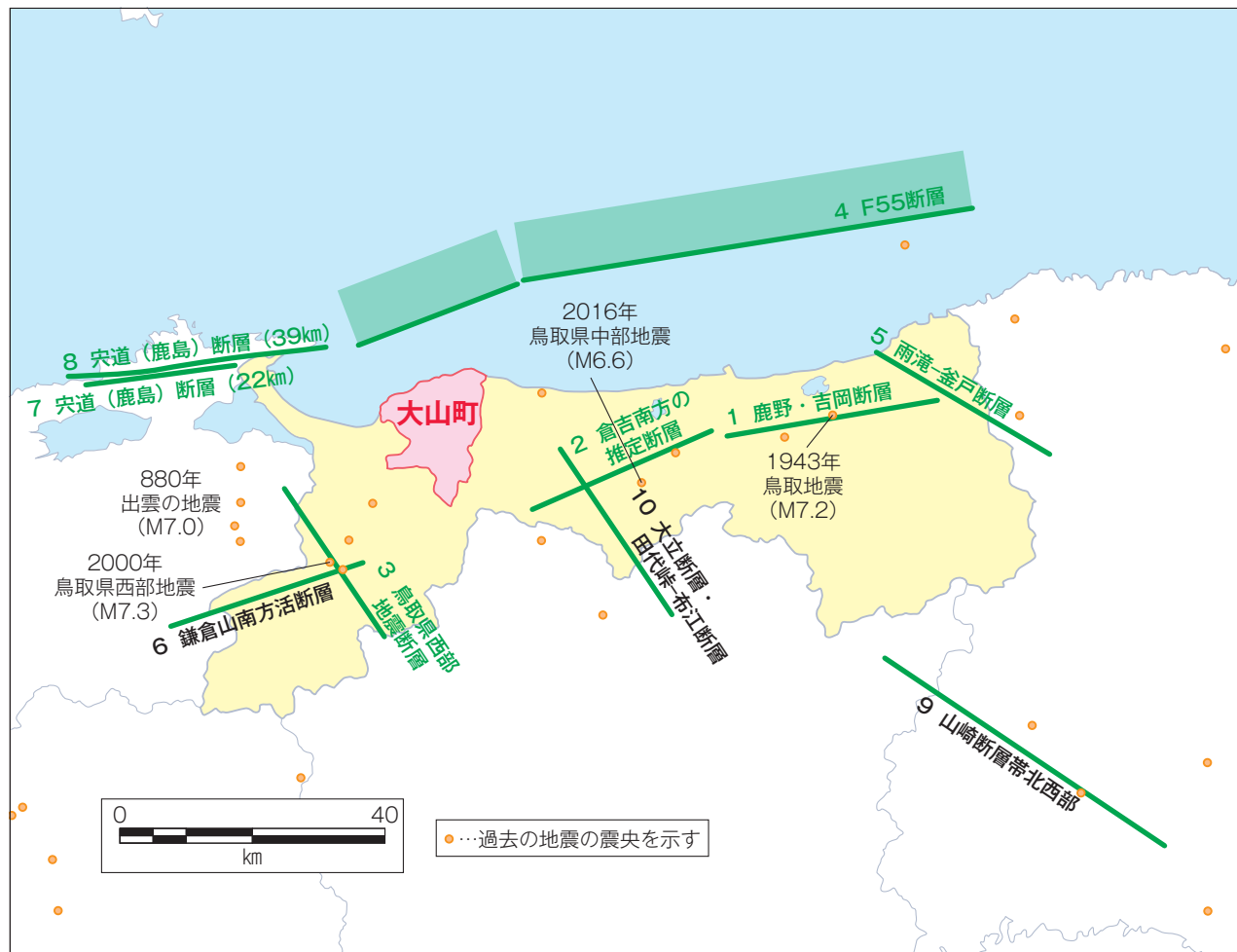


地震災害編

▶ 鳥取県で発生が想定される地震と被害について

鳥取県で発生が想定される地震と被害の予測は、平成30年12月に「鳥取県地震・津波被害想定調査報告書」で取りまとめられました。

現在想定されている地震の震源とその地震規模は下記のようになっています。



想定地震（震源断層）位置図

鳥取県地震・津波被害想定調査報告書（平成30年12月、鳥取県）より

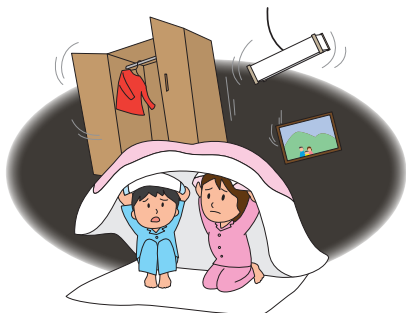
■ 想定地震

No.	想定地震の断層名	マグニチュード (Mj)
1	鹿野・吉岡断層	7.4
2	倉吉南方の推定断層	7.3
3	鳥取県西部地震断層	7.3
4	F55断層	8.1
5	雨滝-釜戸断層	7.3
6	鎌倉山南方活断層	7.3
7	宍道(鹿島)断層 (22km)	7.1
8	宍道(鹿島)断層 (39km)	7.5
9	山崎断層帯北西部	7.7
10	大立断層・田代峠-布江断層	7.3
11	地表断層が不明な地震 (Mw6.8)	(Mw6.8)
12	南海トラフ巨大地震	8.3

▶ 地震災害から身を守るために

●寝ていたら

- 布団やまくらなどで頭部を守りましょう。
- 家具が倒れてこないところに身をよせましょう。
- 暗やみでは、室内の様子を把握しにくくなるので、まくら元には懐中電灯、携帯ラジオを置くようにしましょう。



●料理をしていたら

- まず、火の始末。
- 身の安全確保を最優先に考えましょう。
- 台所では食器棚や冷蔵庫などが倒れる危険があるので、なるべく早く台所から離れましょう。



●入浴中やトイレの中では

- お風呂場やトイレは、比較的安全な場所といわれていますので慌てて外に飛び出さないようにしましょう。
- 入浴中の場合、湯船の中で様子を見て落下物に注意し、桶などで頭部を守りましょう。
- トイレではドアを開けて少し様子を見ましょう。



●歩いていたら

- 建物からの落下物に注意しバッグなどで頭部を保護しましょう。
- 狭い路地やブロック塀には近づかないこと。
- 橋などの上にいるときは、手すりや柵にしっかりとつかまり、振り落とされないようにして、揺れがおさまったら即座にその場を離れましょう。
- 切れた電線には、決して触らないこと。



●エレベーターの中では

- エレベーター内に閉じ込められたら非常用ボタンを押してつづけて救助を待ちましょう。
- 天井などから無理に脱出するのは危険です。



●車を運転していたら

- 速度を落とし、路肩に寄せてエンジンを切って様子を見ましょう。
- 揺れがおさまるまで車外に出ず、ラジオで情報を聞きましょう。
- 車外に出るときは、窓を閉めロックをせずにキーは付けたままにしましょう。
- 避難が必要な場合は貴重品を忘れずに持ち出し徒歩で避難しましょう。



▶ 家の中の安全対策

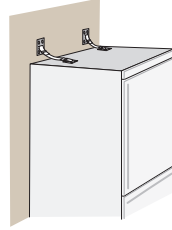
●食器棚

L字金具などで固定しましょう。ガラス面には飛散防止フィルムを。



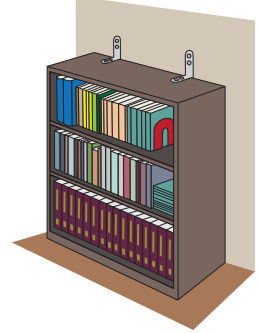
●冷蔵庫

転倒防止用の専用ベルトなどで壁に固定しましょう。



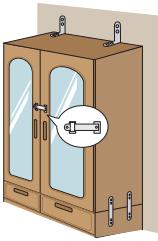
●本棚

すきまがあるときはブックエンドなどを活用して本がすべり落ちないように、工夫しましょう。



●背の高い家具

L字金具などで固定しましょう。2段重ねのものは上段と下段のつなぎ目を金具で連結して、両開きタイプの場合は扉が開かないように止め金具を付けましょう。



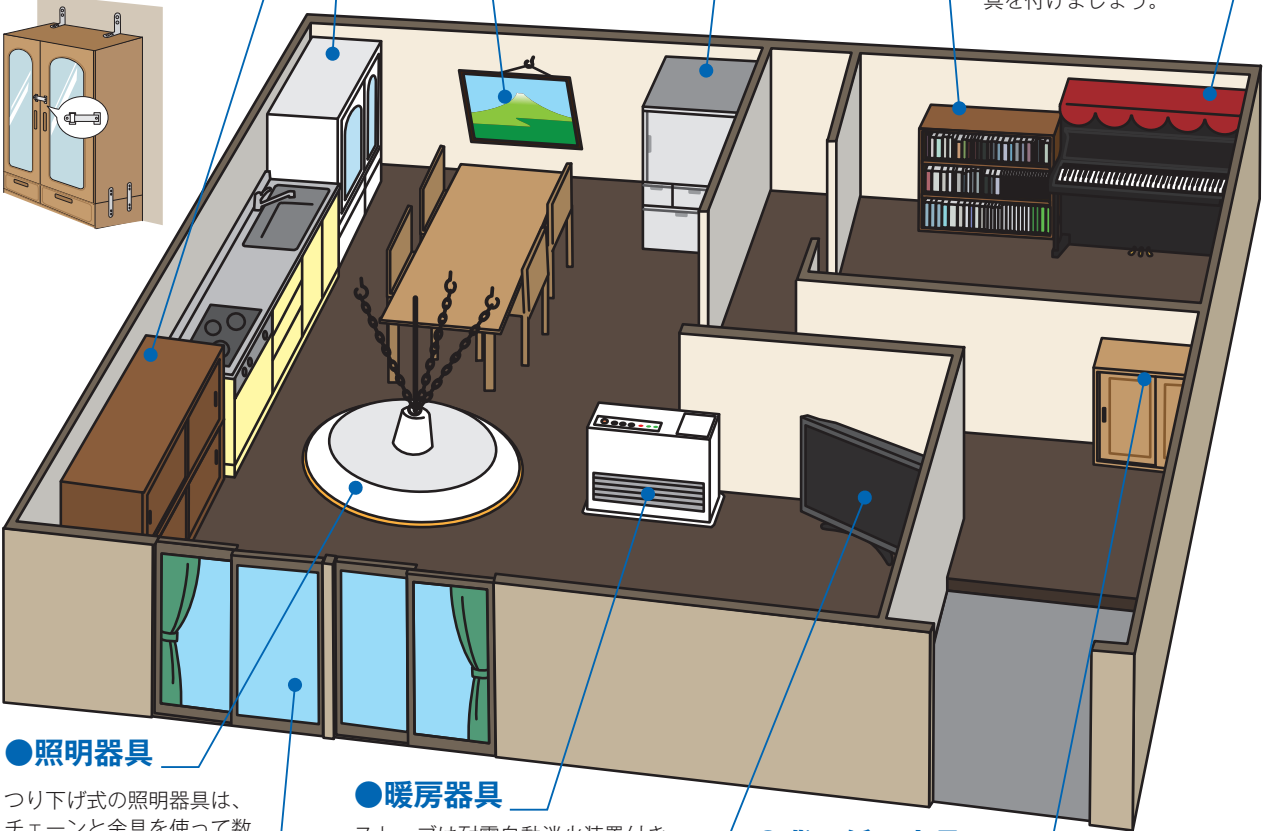
●額・棚

チェーンや金具でしっかり固定しましょう。



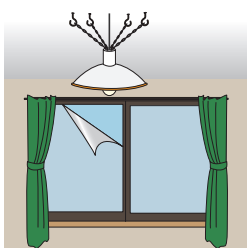
●ピアノ

太めの柱に取り付けた金具に連結し固定しましょう。脚には専用のすべり止め器具を付けましょう。



●照明器具

つり下げ式の照明器具は、チェーンと金具を使って数箇所止めましょう。

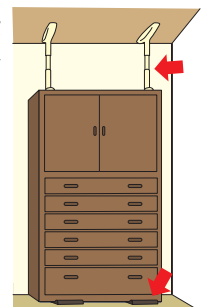


●暖房器具

ストーブは耐震自動消火装置付きのものを使用しましょう。周囲に燃えやすい物を置かないようにしましょう。

●背の低い家具

L字金具などで固定しましょう。支え棒を使用する場合は壁側に設置し、床との間に免震ゴムを入れるとよいです。



●窓

カーテンを引いて就寝しましょう。ガラス面には飛散防止フィルムをはるとより安全です。

●テレビ

家具の上などには置かず、できるだけ低い位置に置き、金具やロープ、装着マットなどで固定しましょう。

